

平成21年度
決算説明資料

株式会社 鳥取銀行

【 目 次 】

平成21年度決算の概況		1
1. 損益状況	単・連	1
2. 業務純益	単	3
3. 利 鞘	単	3
4. 有価証券関係損益	単	3
5. 有価証券の評価損益	単・連	4
6. 自己資本比率(国内基準)	単・連	5
7. 業 容 等	単	6
リスク管理債権等の状況		7
1. リスク管理債権の状況	単・連	7
2. 貸倒引当金等の状況	単・連	8
3. 金融再生法開示債権	単	9
4. 金融再生法開示債権の保全状況	単	9
5. 業種別貸出状況等	単	11
地域貢献に関する情報		12
1. 地域への信用供与の状況	単	12
2. 地域における預金業務等の状況	単	13
最近のトピックス		14

平成21年度 決算の概況

1. 損益状況 【単体】

(単位:百万円)

	21年度		20年度
		20年度比	
業 務 粗 利 益	14,198	4,508	9,690
(コア業務粗利益)	13,538	244	13,294
資 金 利 益	11,682	662	12,344
役 務 取 引 等 利 益	1,027	7	1,034
そ の 他 業 務 利 益	1,488	5,176	3,688
国内業務粗利益	13,917	1,224	12,693
資金利益	11,358	274	11,632
役務取引等利益	1,010	5	1,015
その他業務利益	1,548	1,503	45
国際業務粗利益	281	3,284	3,003
資金利益	323	388	711
役務取引等利益	16	3	19
その他業務利益	59	3,675	3,734
経 費 ()	10,601	30	10,571
人 件 費 ()	5,003	65	4,938
物 件 費 ()	5,149	9	5,158
税 金 ()	448	26	474
業務純益 (一般貸倒繰入前)	3,597	4,477	880
コア業務純益	2,936	213	2,723
国債等債券関係損益	660	4,264	3,604
一般貸倒引当金繰入額 ()	132	132	-
業 務 純 益	3,465	4,345	880
臨 時 損 益	839	521	1,360
うち株式等関係損益	1,030	891	139
うち不良債権処理額 ()	2,039	415	1,624
貸 出 金 償 却 ()	601	1,023	1,624
個別貸倒引当金繰入額 ()	1,438	1,438	-
うち偶発損失引当金繰入額 ()	24	41	65
経 常 利 益	2,626	4,867	2,241
特 別 損 益	137	1,188	1,051
うち貸倒引当金戻入益	-	844	844
うち償却債権取立益	14	228	242
うち動産不動産処分損益	23	5	28
税 引 前 当 期 純 利 益	2,488	3,678	1,190
法人税、住民税及び事業税 ()	578	100	478
法人税等調整額 ()	459	1,402	943
当 期 純 利 益	1,451	2,176	725
総与信関連費用 (+ + - -)	2,181	1,579	602

(コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 国債等債券関係損益)

(コア業務純益 = 業務純益 (一般貸倒引当金繰入前) - 国債等債券関係損益)

損益状況 【連結】

(単位：百万円)

	21年度		20年度
		20年度比	
連結粗利益	14,385	4,488	9,897
資金利益	11,812	683	12,495
役務取引等利益	1,084	6	1,090
その他業務利益	1,488	5,176	3,688
債券等関係損益	660	4,264	3,604
営業経費	10,749	2	10,751
与信費用()	2,217	552	1,665
貸出金償却()	638	1,027	1,665
個別貸倒引当金繰入額()	1,444	1,444	-
一般貸倒引当金繰入額()	134	134	-
偶発損失引当金繰入額()	24	41	65
株式等関係損益	1,030	891	139
その他	196	32	164
経常利益	2,646	4,861	2,215
特別損益	137	1,177	1,040
税金等調整前当期純利益	2,508	3,682	1,174
法人税、住民税及び事業税()	585	97	488
法人税等調整額()	461	1,405	944
少数株主利益()	2	0	2
当期純純利益	1,458	2,179	721

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益-資金調達費用) + (役務取引等収益-役務取引等費用) +
(その他業務収益-その他業務費用)

(連結対象子会社数)

(単位：社)

	21年度		20年度
		20年度比	
連結子会社数	2	-	2
持分法適用会社数	3	-	3

2. 業務純益 【単体】

(単位：百万円)

	21年度		20年度
		20年度比	
(1) 業務純益	3,465	4,345	880
職員一人当たり(千円)	4,985	6,261	1,276
(2) コア業務純益	2,936	213	2,723
職員一人当たり(千円)	4,225	278	3,947

3. 利 鞘 【単体】

(単位：%)

	21年度		20年度
		20年度比	
(1) 資金運用利回 (A)	1.78	0.23	2.01
(イ) 貸出金利回	2.03	0.17	2.20
(ロ) 有価証券利回	0.96	0.36	1.32
(2) 資金調達原価 (B)	1.64	0.14	1.78
(イ) 預金等利回	0.24	0.06	0.30
(ロ) 経費率	1.37	0.08	1.45
(3) 総資金利鞘 (A)-(B)	0.14	0.09	0.23

4. 有価証券関係損益 【単体】

(単位：百万円)

	21年度		20年度
		20年度比	
国債等債券損益(5勘定戻)	660	4,264	3,604
売却益	608	396	212
償還益	507	507	-
売却損()	288	287	1
償還損()	71	37	34
償却()	94	3,687	3,781

株式等損益(3勘定戻)	1,030	891	139
売却益	1,069	844	225
売却損()	25	25	-
償却()	13	73	86

5. 有価証券の評価損益

(1) 有価証券の評価基準

有価証券

満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券(時価のあるもの)	時価法 (評価差額を全部資本直入)
その他有価証券(時価のないもの)	移動平均法による原価法または償却原価法

金銭の信託中の有価証券

運用目的の金銭の信託	時価法
------------	-----

(注) 当期の金銭の信託は、全て運用目的の金銭の信託であります。

(2) 評価損益

【単体】

(単位：百万円)

	平成22年3月末				平成21年3月末			
	評価損益		評価益	評価損	評価損益		評価益	評価損
		前年比						
満期保有目的	969	976	75	1,044	1,945	-	1,945	
子会社・関係会社株式	-	-	-	-	-	-	-	
その他有価証券	8,382	11,302	1,720	10,102	19,684	238	19,922	
株式	2,134	1,557	276	2,410	3,691	15	3,707	
債券	455	2,252	862	407	1,797	166	1,963	
その他	6,703	7,492	581	7,284	14,195	56	14,252	
合計	9,351	12,279	1,795	11,147	21,630	238	21,868	
株式	2,134	1,557	276	2,410	3,691	15	3,707	
債券	506	2,303	937	431	1,797	166	1,963	
その他	7,723	8,418	581	8,305	16,141	56	16,198	

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

2. 平成22年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は 5,309百万円であります。

【連結】

(単位：百万円)

	平成22年3月末				平成21年3月末			
	評価損益		評価益	評価損	評価損益		評価益	評価損
		前年比						
満期保有目的	969	976	75	1,044	1,945	-	1,945	
その他有価証券	8,382	11,302	1,720	10,102	19,684	238	19,922	
株式	2,134	1,557	276	2,410	3,691	15	3,707	
債券	455	2,252	862	407	1,797	166	1,963	
その他	6,703	7,492	581	7,284	14,195	56	14,252	
合計	9,351	12,279	1,795	11,147	21,630	238	21,868	
株式	2,134	1,557	276	2,410	3,691	15	3,707	
債券	506	2,303	937	431	1,797	166	1,963	
その他	7,723	8,418	581	8,305	16,141	56	16,198	

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、連結貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

2. 平成22年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は 5,307百万円であります。

6. 自己資本比率(国内基準)

【単体】

(単位:百万円、%)

	22年3月末			21年9月末	21年3月末
	(速報)	21年9月末比	21年3月末比		
(1) 自己資本比率	12.61 %	0.46	0.60	12.15 %	12.01 %
うち基本的項目比率(Tier 1)	8.66 %	0.34	0.85	8.32 %	7.81 %
(2) 自己資本	53,158	227	1,186	52,931	54,344
(イ) 基本的項目	36,497	241	1,140	36,256	35,357
(うち 証券化取引により増加した自己資本相当額())	(1,245)	(84)	(168)	(1,329)	(1,413)
(ロ) 補完的項目	17,763	91	1,574	17,854	19,337
(うち 一般貸倒引当金)	(2,633)	(88)	(193)	(2,721)	(2,826)
(うち 期限付劣後債務)	(14,377)	(-)	(1,378)	(14,377)	(15,755)
(ハ) 控除項目()	1,101	78	752	1,179	349
(3) リスクアセット等	421,302	14,121	30,880	435,423	452,182
(うち 信用リスクアセット)	(395,493)	(13,159)	(29,508)	(408,652)	(425,001)
(うち オペレーショナルリスク相当額を8%で除して得た額)	(25,809)	(962)	(1,372)	(26,771)	(27,181)

【連結】

(単位:百万円、%)

	22年3月末			21年9月末	21年3月末
	(速報)	21年9月末比	21年3月末比		
(1) 自己資本比率	12.58 %	0.47	0.60	12.11 %	11.98 %
うち基本的項目比率(Tier 1)	8.71 %	0.35	0.85	8.36 %	7.86 %
(2) 自己資本	53,107	242	1,203	52,865	54,310
(イ) 基本的項目	36,781	273	1,150	36,508	35,631
(うち 証券化取引により増加した自己資本相当額())	(1,245)	(84)	(168)	(1,329)	(1,413)
(ロ) 補完的項目	17,768	91	1,573	17,859	19,341
(うち 一般貸倒引当金)	(2,638)	(88)	(193)	(2,726)	(2,831)
(うち 期限付劣後債務)	(14,377)	(-)	(1,378)	(14,377)	(15,755)
(ハ) 控除項目()	1,441	60	779	1,501	662
(3) リスクアセット等	422,128	14,097	30,841	436,225	452,969
(うち 信用リスクアセット)	(395,935)	(13,116)	(29,427)	(409,051)	(425,362)
(うち オペレーショナルリスク相当額を8%で除して得た額)	(26,193)	(981)	(1,414)	(27,174)	(27,607)

(注)自己資本比率は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

7.業 容 等 【単体】

(1) 貸出金

(単位：百万円、%)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
	21年9月末比	21年3月末比		
貸出金(末残)	624,519	18,681	13,993	605,838
貸出金(平残)	605,021	2,987	18,232	602,034
消費者ローン(末残)	193,569	1,955	2,883	191,614
住宅ローン	174,145	1,145	1,257	173,000
その他ローン	19,423	810	1,626	18,613
消費者ローン比率	30.99%	0.63	0.24	31.62%
中小企業等貸出金残高(末残)	373,041	5,784	492	367,257
中小企業等貸出金比率	59.73%	0.88	1.29	60.61%

(注) 中小企業等貸出金比率は総貸出金残高に占める中小企業等貸出金残高の割合です。

(2) 預金

(単位：百万円)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
	21年9月末比	21年3月末比		
預金(末残)	777,340	17,150	18,665	760,190
預金(平残)	767,641	766	40,323	766,875
預金(末残)	777,340	17,150	18,665	760,190
個人預金	564,943	1,689	12,793	563,254
法人預金	138,900	5,863	1,947	133,037
公金預金	66,493	8,480	7,765	58,013
金融預金	7,003	1,118	55	5,885

(3) 個人預かり資産

(単位：百万円)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
	21年9月末比	21年3月末比		
個人預かり資産	685,341	9,066	28,330	676,275
個人預金	564,943	1,689	12,793	563,254
投資信託	40,415	1,009	5,535	39,406
公共債(国債等)	25,005	2,092	2,398	27,097
年金保険等	54,978	8,460	12,400	46,518

(4) 投資信託の販売状況

(単位：百万円)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
	21年9月末比	21年3月末比		
販売累計額	134,600	2,697	4,066	131,903

(5) 年金保険等の販売状況

(単位：百万円)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
	21年9月末比	21年3月末比		
販売累計額	54,978	8,460	12,400	46,518

リスク管理債権等の状況

1. リスク管理債権の状況

【単体】

(単位：百万円、%)

	22年3月末			21年9月末	21年3月末
		21年9月末比	21年3月末比		
リスク管理債権額 (A)	15,499	1,665	1,040	13,834	14,459
(貸出金残高に占める比率)	(2.48 %)	(0.20)	(0.12)	(2.28 %)	(2.36 %)
破綻先債権額	2,288	677	522	2,965	2,810
(貸出金残高に占める比率)	(0.36 %)	(0.12)	(0.10)	(0.48 %)	(0.46 %)
延滞債権額	12,743	2,357	1,480	10,386	11,263
(貸出金残高に占める比率)	(2.04 %)	(0.33)	(0.20)	(1.71 %)	(1.84 %)
3ヵ月以上延滞債権額	104	178	80	282	184
(貸出金残高に占める比率)	(0.01 %)	(0.03)	(0.02)	(0.04 %)	(0.03 %)
貸出条件緩和債権額	363	163	163	200	200
(貸出金残高に占める比率)	(0.05 %)	(0.02)	(0.02)	(0.03 %)	(0.03 %)
担保・保証付与信額 (B)	10,081	88	786	10,169	10,867
個別貸倒引当金残高 (C)	4,137	907	1,075	3,230	3,062
差引リスク管理債権額 (A)-(B)-(C)	1,280	847	751	433	529

単体貸出金残高 (末残)	624,519	18,681	13,993	605,838	610,526
--------------	---------	--------	--------	---------	---------

【連結】

(単位：百万円、%)

	22年3月末			21年9月末	21年3月末
		21年9月末比	21年3月末比		
リスク管理債権額 (A)	15,634	1,678	1,057	13,956	14,577
(貸出金残高に占める比率)	(2.50 %)	(0.20)	(0.12)	(2.30 %)	(2.38 %)
破綻先債権額	2,288	677	522	2,965	2,810
(貸出金残高に占める比率)	(0.36 %)	(0.12)	(0.10)	(0.48 %)	(0.46 %)
延滞債権額	12,840	2,357	1,490	10,483	11,350
(貸出金残高に占める比率)	(2.05 %)	(0.32)	(0.20)	(1.73 %)	(1.85 %)
3ヵ月以上延滞債権額	108	178	86	286	194
(貸出金残高に占める比率)	(0.01 %)	(0.03)	(0.02)	(0.04 %)	(0.03 %)
貸出条件緩和債権額	397	177	175	220	222
(貸出金残高に占める比率)	(0.06 %)	(0.03)	(0.03)	(0.03 %)	(0.03 %)
担保・保証付与信額 (B)	10,081	88	786	10,169	10,867
個別貸倒引当金残高 (C)	4,234	907	1,085	3,327	3,149
差引リスク管理債権額 (A)-(B)-(C)	1,318	859	758	459	560

連結貸出金残高 (末残)	624,362	18,630	13,922	605,732	610,440
--------------	---------	--------	--------	---------	---------

2. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
	21年9月末比	21年3月末比		
貸倒引当金	7,231	614	6,617	6,017
一般貸倒引当金	3,042	299	3,341	2,910
個別貸倒引当金	4,189	913	3,276	3,107
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-
投資損失引当金	63	0	63	71

【連結】

(単位：百万円)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
	21年9月末比	21年3月末比		
貸倒引当金	7,398	611	6,787	6,177
一般貸倒引当金	3,111	301	3,412	2,977
個別貸倒引当金	4,287	913	3,374	3,199
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-
投資損失引当金	63	0	63	71

3.金融再生法開示債権

【単体】

(単位：百万円、%)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
		21年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,611	709	1,413	6,024
危険債権	10,548	2,367	2,358	8,190
要管理債権	467	15	82	385
小計 (A)	15,627	1,643	1,026	14,601
正常債権	628,550	16,569	11,765	616,785
合計(総与信)	644,178	18,213	12,792	631,386
開示債権の総与信に占める割合(%)	2.42	0.19	0.11	2.31

4.金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位：百万円、%)

	22年3月末		21年9月末	21年3月末
		21年9月末比		
保全引当額 (B)	14,423	737	13,686	14,185
担保保証等	10,163	111	10,274	10,964
貸倒引当金	4,260	849	3,411	3,220
保全引当率 (B)/(A)	92.30	5.57	97.87	97.15

金融再生法に基づく開示債権の保全・引当情報

【単体】

(単位：百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権残高：A	4,611	10,548	467	15,627
担保等による保全額：B	3,387	6,587	188	10,163
貸倒引当金：C	1,223	2,960	76	4,260
保全引当率：D D= (B+C) / A	100.00%	90.51%	56.57%	92.30%
引当率：E E= C / (A-B)	100.00%	74.73%	27.27%	77.97%

平成22年3月末の自己査定結果・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況【単体】

< 部分直接償却実施後 >
(単位：百万円)

自己査定結果 対象：総与信		金融再生法開示債権 対象：総与信				リスク管理債権 (対象：貸出金)
債務者区分	総与信		担保 保証	引当額	保全 引当率	
破綻先	2,384	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権				破綻先債権 2,288
実質破綻先	2,227	4,611	3,387	1,223	100.0%	延滞債権
破綻懸念先	10,548	危険債権				12,743
		10,548	6,587	2,960	90.5%	
要 注 意 先	要管理先	要管理債権				3ヶ月以上延滞債権 104
		467	188	76	55.6%	貸出条件緩和債権 363
	474	小計(A)				合計(C) 15,499
		15,627	10,163	4,260	92.3%	
	55,935					
正 常 先		正常債権				
		628,550				
	572,607					
総与信合計	644,178	総与信合計(B)				貸出金合計(D) 624,519
		644,178				
		総与信に占める 割合(A/B)				貸出金に占める 割合(C/D)
		2.42%				2.48%

開示基準

・金融再生法の開示債権

自己査定により区分された債務者単位で開示しております。
ただし、要管理債権は債権単位で開示しております。

・銀行法のリスク管理債権

貸出金単位で開示しております。

破綻先債権は、自己査定上の「破綻先」に対する貸出金を開示しております。
延滞債権は、自己査定上の「実質破綻先」「破綻懸念先」に対する貸出金を開示しております。

(注)

1. 単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 総与信とは貸出金、支払承諾見返、外国為替、貸付有価証券、貸出金に準ずる仮払金及び未収利息であります。

5. 業種別貸出状況等

業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

	22年3月末	21年9月末		21年3月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	624,519	605,838	国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	610,526
製造業	69,442	67,415	製造業	65,587
農業・林業	1,012	1,461	農業	695
漁業	286	306	林業	772
鉱業・採石業・砂利採取業	60	56	漁業	287
建設業	19,875	19,573	鉱業	50
電気・ガス・熱供給・水道業	11,667	10,428	建設業	21,596
情報通信業	3,939	3,786	電気・ガス・熱供給・水道業	10,462
運輸・郵便業	12,469	8,185	情報通信業	3,557
卸売・小売業	55,150	53,796	運輸業	5,660
金融・保険業	32,013	39,388	卸売・小売業	56,325
不動産業	22,247	23,192	金融・保険業	44,395
個人による貸家業	58,620	59,774	不動産業	24,389
各種サービス業	73,595	73,965	各種サービス業	73,266
地方公共団体	124,684	107,285	地方公共団体	106,420
その他	139,454	137,220	その他	197,060

業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

	22年3月末	21年9月末		21年3月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	15,499	13,834	国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	14,459
製造業	2,772	1,481	製造業	1,609
農業・林業	1	4	農業	2
漁業	-	-	林業	-
鉱業・採石業・砂利採取業	9	9	漁業	1
建設業	1,480	1,826	鉱業	10
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	建設業	2,333
情報通信業	34	34	電気・ガス・熱供給・水道業	-
運輸・郵便業	258	273	情報通信業	34
卸売・小売業	2,889	1,914	運輸業	371
金融・保険業	-	-	卸売・小売業	1,944
不動産業	1,775	1,700	金融・保険業	-
個人による貸家業	357	303	不動産業	1,762
各種サービス業	4,266	4,761	各種サービス業	4,461
地方公共団体	-	-	地方公共団体	-
その他	1,651	1,524	その他	1,927

(注) 日本標準産業分類の改定に伴い、平成21年9月末から業種の表示を一部変更しております。

地域貢献に関する情報

1. 地域への信用供与の状況 【単体】

(1) 県内貸出金

(単位：百万円、先、%)

	22年3月末			21年9月末	21年3月末
		21年9月末比	21年3月末比		
総貸出金残高	624,519	18,681	13,993	605,838	610,526
県内貸出金残高	486,487	20,309	18,831	466,178	467,656
県内貸出金比率	77.89%	0.95	1.30	76.94%	76.59%

(注) 県内貸出金比率 = 鳥取県内店舗の貸出金残高/総貸出金残高

総貸出先数	46,322	829	1,358	47,151	47,680
県内貸出先数	37,723	703	1,097	38,426	38,820
県内貸出先数比率	81.43%	0.06	0.02	81.49%	81.41%

(注) 県内貸出先数比率 = 鳥取県内店舗の貸出先数/総貸出先数

消費者ローン残高	193,569	1,955	2,883	191,614	190,686
県内ローン残高	138,254	2,323	3,469	135,931	134,785
消費者ローン比率	30.99%	0.63	0.24	31.62%	31.23%
県内ローン比率	28.41%	0.74	0.41	29.15%	28.82%

(注) 消費者ローン比率 = 消費者ローン残高/総貸出金残高、県内ローン比率 = 鳥取県内店舗のローン残高/県内貸出金残高

中小企業等貸出金残高	373,041	5,784	492	367,257	372,549
県内中小企業等貸出金残高	277,190	4,855	647	272,335	276,543
中小企業等貸出金比率	59.73%	0.88	1.29	60.61%	61.02%
県内中小企業等貸出金比率	56.97%	1.44	2.16	58.41%	59.13%

(注) 中小企業等貸出金比率 = 中小企業等貸出金残高/総貸出金残高

(注) 県内中小企業等貸出金比率 = 鳥取県内店舗の中小企業等貸出金残高/県内貸出金残高

中小企業等貸出先数	46,151	831	1,365	46,982	47,516
県内中小企業等貸出先数	37,596	708	1,106	38,304	38,702
中小企業等貸出先数比率	99.63%	0.01	0.02	99.64%	99.65%
県内中小企業等貸出先数比率	99.66%	0.02	0.03	99.68%	99.69%

(注) 中小企業等貸出先数比率 = 中小企業等貸出先数/総貸出先数

(注) 県内中小企業等貸出先数比率 = 鳥取県内店舗の中小企業等貸出先数/県内貸出先数

(2) 県内業種別貸出状況

(単位：百万円)

	22年3月末	21年9月末		21年3月末
県内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	486,487	466,178	県内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	467,656
製造業	54,530	51,846	製造業	48,496
農業・林業	802	841	農業	693
漁業	286	306	林業	132
鉱業・採石業・砂利採取業	22	20	漁業	287
建設業	14,238	13,770	鉱業	16
電気・ガス・熱供給・水道業	3,663	3,922	建設業	15,722
情報通信業	3,221	3,077	電気・ガス・熱供給・水道業	3,962
運輸・郵便業	10,620	6,597	情報通信業	2,848
卸売・小売業	39,398	36,928	運輸業	3,986
金融・保険業	25,427	32,238	卸売・小売業	38,486
不動産業	17,594	18,507	金融・保険業	37,838
個人による貸家業	35,913	36,472	不動産業	19,894
各種サービス業	56,077	56,512	各種サービス業	54,453
地方公共団体	118,279	100,794	地方公共団体	100,598
その他	106,409	104,342	その他	140,240

(注) 日本標準産業分類の改定に伴い、平成21年9月末から業種の表示を一部変更しております。

2. 地域における預金業務等の状況 【単体】

(1) 県内預金

(単位：百万円、%)

	22年3月末			21年9月末	21年3月末
		21年9月末比	21年3月末比		
総預金残高	777,340	17,150	18,665	760,190	758,675
県内預金残高	673,199	18,301	23,672	654,898	649,527
県内預金比率	86.60%	0.46	0.99	86.14%	85.61%

(注) 県内預金比率は総預金残高に占める鳥取県内店舗の預金残高の割合です。

(2) 県内個人預かり資産

(単位：百万円)

	22年3月末			21年9月末	21年3月末
		21年9月末比	21年3月末比		
県内個人預かり資産	601,766	9,444	26,291	592,322	575,475
個人預金	495,485	3,279	13,135	492,206	482,350
投資信託	35,146	800	4,683	34,346	30,463
公共債(国債等)	22,917	1,979	2,302	24,896	25,219
年金保険等	48,218	7,344	10,775	40,874	37,443

最近のトピックス

金融円滑化対応の充実・強化

(21/12月)

- ・ 地域経済や雇用・所得情勢の回復が遅れるなか、地域金融の円滑化を一層積極的に推進するため、平成21年12月より全店に「金融円滑化相談窓口」を開設するとともに、支店長もしくは次席クラスの役席者を「金融円滑化担当責任者」に任命いたしました。鳥取・米子のローンプラザやイオン鳥取北支店・イオン日吉津支店では、土日・祝日における休日相談窓口も開設しています。また、平成22年1月には、お客さまに当行の金融円滑化への取組姿勢をより一層理解していただくため、「金融円滑化基本方針」を制定し、店頭やHPなどで公開したほか、金融円滑化に係るお客さまからの苦情相談に適切にお応えするため、全店に「金融円滑化苦情相談担当者」を配置するとともに、営業店や関係各部などから独立して直接お客さまからの苦情相談を承る部署である経営管理部お客様センター内に「金融円滑化苦情相談窓口」を開設いたしました。

認知症サポーターの全店配置

(22/1月)

- ・ 地域社会の少子高齢化が進展するなかで、高齢者にやさしく、地域の皆さまに安心してご来店いただける店づくりを推進するため、平成22年1月に役職員約120名を対象にした「認知症サポーター養成講座」を開催し、中国地方の金融機関で初めて認知症について正しい知識を習得した認知症サポーターの全店配置を実施いたしました。また、平成22年3月には、鳥取県より認定された「あいサポート企業」として、障がい者に必要な配慮などを理解し日常生活で手助け・支援を行なう人材を育成するため、役職員約130名を対象にした「あいサポーター研修」を開催いたしました。

環境配慮型融資の取扱開始

(22/2月)

- ・ 平成22年2月に山陰地区に本店を置く金融機関として初めて環境省(財団法人日本環境協会)の「京都議定書目標達成特別支援無利子融資利子補給金交付事業」に関する指定金融機関となり、「とりぎん環境配慮型融資(利子補給型)」の取扱いを開始いたしました。また、より多くの事業者の皆さまの環境配慮型経営や様々な環境保全などに向けた活動を積極的に支援するため、平成22年3月には、当行独自の環境配慮型融資商品である「グリーン・リード」「グリーン・アシスト」や環境配慮型私募債(銀行保証付)の取扱いを開始いたしました。

岩美支店を移転オープン

(22/3月)

- ・ 昭和38年の新築以来、永らく地域のお客さまにご愛顧いただいた岩美支店も老朽化が進み、ロビースペースも手狭となっていたため、平成22年3月に旧店舗から北へ約600mのところに移転オープンいたしました。新店舗は、これまで岩美町の武道館・集会所として使用されてきた建物を改装して再利用したリサイクル店舗で、スーパーなど複合商業施設に近接し、お買い物ついでにお立ち寄りいただける便利な立地条件です。また、エントランス・ロビーのスペースを旧店舗の2倍以上に拡充し、ATMを2台設置(従来は1台)したほか、プライバシーに配慮した相談コーナーも充実いたしました。

「とりぎんキッズサッカーフェスティバル(U-9)2009」の開催

(22/3月)

- ・ 地域の将来を担う青少年の健全な育成に寄与することを目的に、平成22年3月に財団法人鳥取県サッカー協会が主催した「とりぎんキッズサッカーフェスティバル(U-9)2009」に特別後援いたしました。フェスティバルは今回で2回目の開催となり、今回の大会では小学校低学年児童の24チームが参加し、天然芝のフィールドで元気いっぱいのプレーを展開しました。